

1 東区の位置と地形

東区は、地形上では東西に二部に分かれ、西部は標高20メートル前後の名古屋台地、東部は守山区との境を西北に流れる矢田川左岸の平野で、その間は緩やかな傾斜をなしています。

矢田川は区内では数少ない水辺の空間であり、さまざまな水生生物や野鳥が生息し、水辺や緑地には多種多様の小さな草花がみられ、都市住民のオアシスとして親しまれています。

東区の地図をみると、中央付近には尾張徳川家の菩提寺である建中寺、その北部には徳川園があります。名古屋城から徳川園に至る南北1.5km、東西3.5kmほどの一帯には、江戸時代の尾張文化、明治以降の近代文化が凝縮されており、この一帯を「文化のみち」と呼んでいます。江戸時代、名古屋城の東の台地上に伸びた武家屋敷地区が「文化のみち」のルーツです。

市バス・地下鉄、JR、名鉄などの交通機関が充実しており、区内全域が交通の便の良い地域となっています。

(参考文献：ひがし見聞録)



2 東区の歴史

名古屋のまちづくりは、1610年の名古屋城築城と同時に当時の尾張の国の中心であった清州からまちを移転(いわゆる「清州越」)することに始まりました。

東区は、明治41年4月に、名古屋市域を4つに分割する「4区制」の実施に伴い、西区、中区、南区とともに名古屋市最初の区の一つとして誕生しました。当時の区域は、広小路より北、本町通で二分した東側で、面積6.35km²、人口は約8万1千人でした。

その後、大正10年には周辺の町村の編入があり、面積も29.5km²(現在面積7.7km²の4倍弱)、人口も13万人を超えました。昭和に入っても人口増加は続き、昭和10年の国勢調査では26万人余りとなったため、昭和12年に区の東半分が千種区として独立しました。さらに昭和19年には、北区も東区から分離独立し、当時設けられていた栄区に一部が移り、ほぼ現在の東区に近い形となりました。

東区では、藩政時代には下級武士をはじめ、広く庶民の間で手工業が行われていました。明治になると、士族を中心とした人たちが、さまざまな事業を興しました。マッチ、時計、それに織物工場が、武家屋敷のあった区西部に、次々と設立されていきました。明治39年には、瀬戸自動鉄道(現在の名鉄瀬戸線)が全線開通、明治44年には中央線大曽根駅が開業し、産業の発展に貢献しました。

明治後期から大正時代には、陶磁器産業の中心として、大いに栄え、外国への輸出も盛んで、これらの取引銀行などが置かれました。後期になると大曽根より北東部の地域では工場の進出が相次ぎ、次第に重工業生産の中心となっていきました。昭和10年代には、航空機エンジンの生産拠点として、関連工場や人々が集中しました。このようなことから、太平洋戦争中はB29の激しい空襲を受けました。区の北東部を中心として、区域の6割が焼失、多くの人命が失われました。

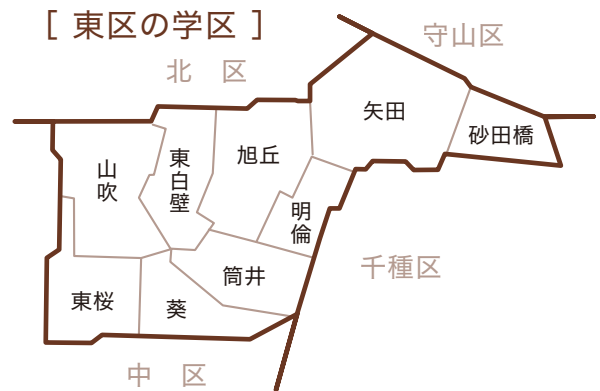
昭和20年、東区の人口は4万2千人余りまで減少しましたが、その後、復興が進むなかで、昭和25年には7万人を超えました。街の整備も戦災復興都市計画により、着実に進み、道路などもあわせて改良整備されました。

現在では、オフィスビルや高層マンションが建ち並び、マンションの建設が進む中で、1世帯あたりの人数は減少しているものの、世帯数と人口は年々増加傾向にあります。

(参考文献：東区史、東区制80周年記念誌「ひがし」、ひがし見聞録)

3 東区の面積、人口、世帯数 (令和5年10月1日現在)

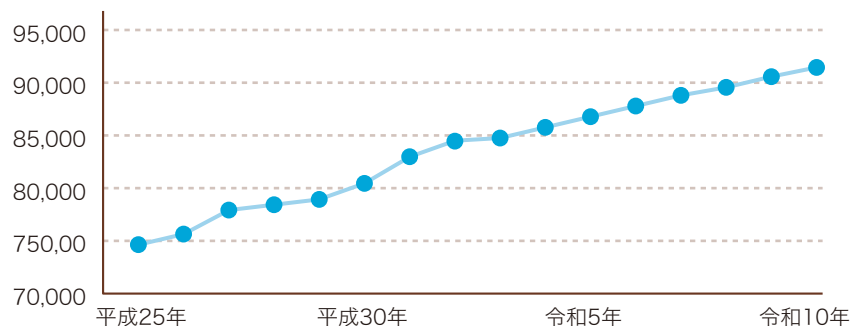
	東区	名古屋市	区順位
面積(km ²)	7.71	326.50	16位
人口(人)	86,711	2,326,683	15位
世帯数(世帯)	47,946	1,156,744	15位
1世帯あたり人員(人)	1.81	2.01	14位
人口密度(人/km ²)	11,247	7,126	1位



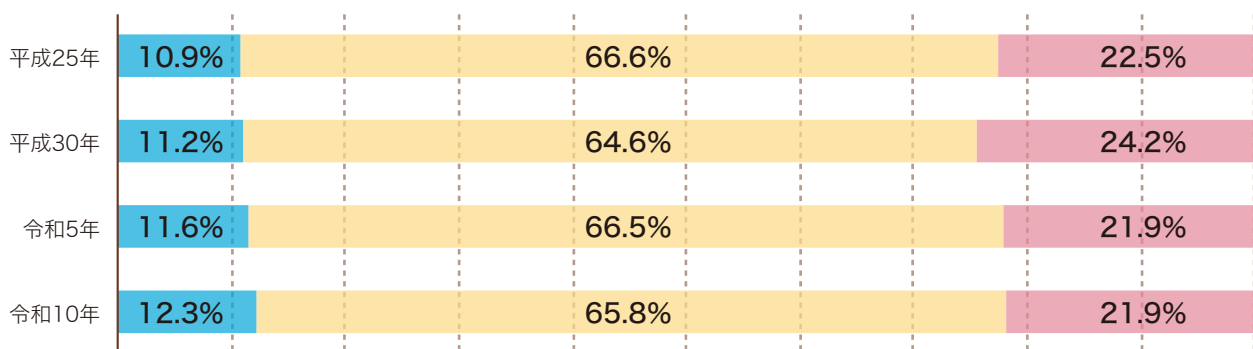
学区	東桜	山吹	東白壁	葵	筒井	旭丘	明倫	矢田	砂田橋
面積(km ²)	0.733	0.934	0.577	0.830	0.743	0.757	0.472	2.173	0.491
人口(人)	10,815	11,618	7,060	11,884	8,768	9,124	5,917	13,313	8,212
世帯数	7,124	6,227	3,365	7,485	4,601	4,776	2,925	7,511	3,932

4 東区の人口推移 (令和5年までは実績値、令和10年は名古屋市将来人口推計値)

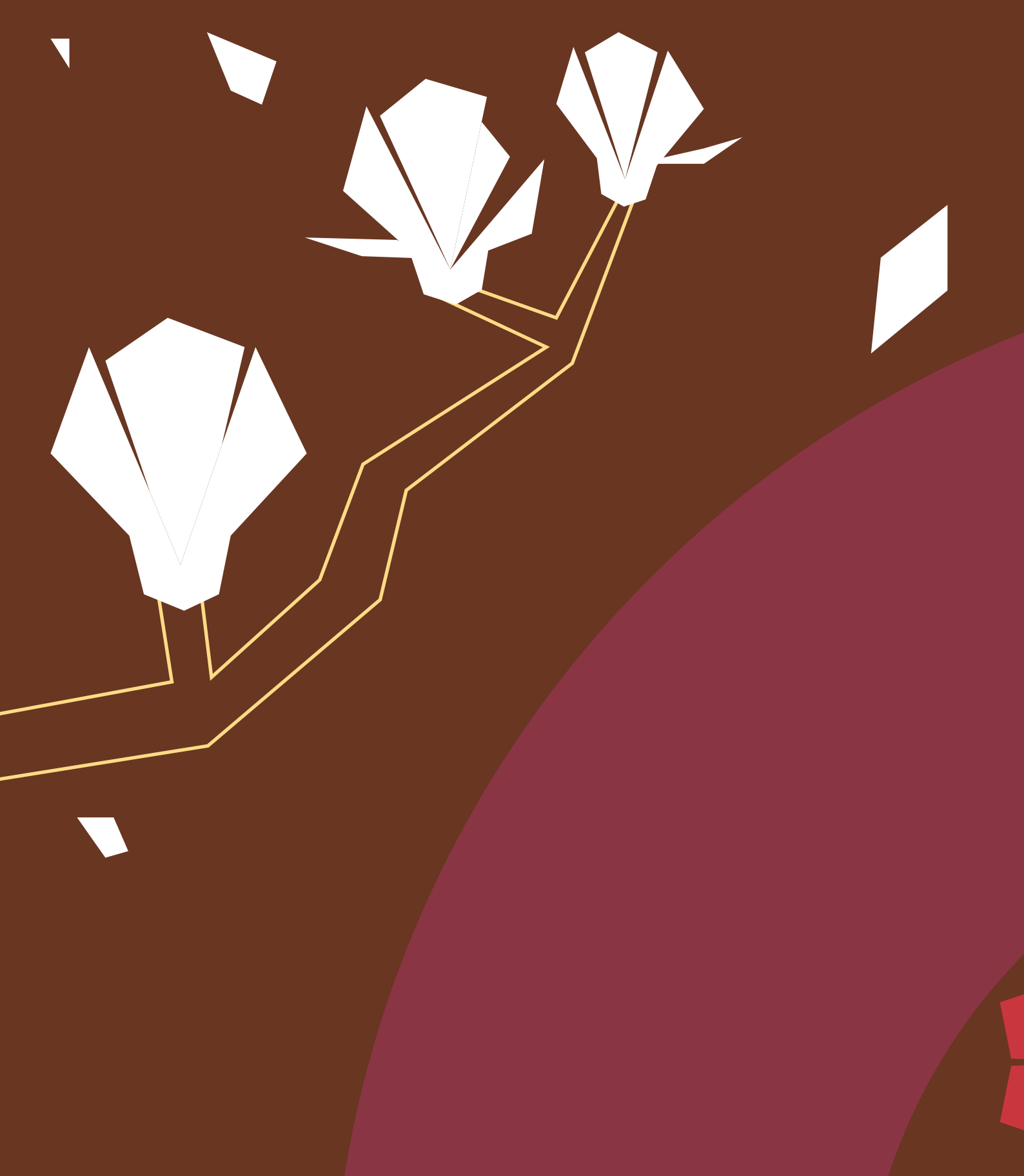
平成25年	74,825人
平成30年	80,568人
令和5年	86,711人
令和10年	91,389人



5 東区の年齢3区分別人口構成推移 (令和5年までは実績値、令和10年は名古屋市将来人口推計値)



0歳～14歳 15歳～64歳 65歳以上



発行 名古屋市東区役所 区政部 企画経理課

〒461-8640 名古屋市東区筒井一丁目7番74号

電話番号 052-934-1106 FAX 052-935-5866

e-mail a9341106@higashi.city.nagoya.lg.jp

東区公式HP <https://www.city.nagoya.jp/higashi/>

★東区公式 Facebook・X(旧 twitter) でも東区の情報を随時発信中★

発行年月：令和6年5月



表紙のデザインは、名古屋市立工芸
高等学校デザイン科の生徒が制作し
ました。